

佐藤工業株式会社

愛知県あま市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

後継者不在の中、外部から経営者を迎え企業 体質をより強化し、強みである自動車用 精密プレス加工の高品質・安定供給を継続

- 自動車向け重要部品のプレス加工で、高い品質要求にも対応し、今後検査の自動化も視野に展開
- 外部人材を活用した先進的な事業承継をきっかけに、企業体質を強化し黒字化を実現
- 独自の精密加工により高い品質と生産性を両立し、優位性のある事業環境の構築を実現

企業基本情報

所在地	愛知県あま市上菅津深見 48 番地
電話 / FAX	052-441-7771 / 052-441-7776
U R L	http://www.sato-ind.co.jp/
代表者	代表取締役社長 植村 達司
設立	1939 年
資本金	2,880 万円
従業員数	110 人



会社概要

自動車オートマチックトランスミッションの重要部品で、トップシェアのプレート・バルブ・ボデーをはじめとする、高効率な生産と超精密加工を同時に実現する金属プレス加工メーカー。2015 年には、3 代続いた創業家の後継者が不在の中、サプライチェーンに影響を与えることなく、大手部品メーカーから転身した新たな人材を経営者として事業承継を実施。これを契機に、全社員が一丸となって、生産から財務まで様々な改善が進められ、収益面の安定とともに、成長・発展に向けた基盤を構築。

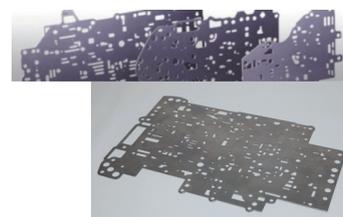


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

自動車向け重要部品で、不良率 200 万分の 1 以上を達成しながら安定供給を実現

最も得意とする薄板形状のプレート・バルブ・ボデー（トランスミッションのオイルの流量を制御する部品）は、年間 2,000 万枚を超える量産品であるが、200 万分の 1 以上の極めて低い不良率も達成している。今後の生産量の更なる増加にも対応できるように、現在作業者の目視に頼っている外観検査を画像認識技術による自動化に取り組みしており、検査コストの大幅削減と生産能力の向上を同時に見込んでいる。



主力製品のプレート・バルブ・ボデー

新たな経営者と社員が一体となり、競争力を強化

後継者不在の創業家の依頼を受け、経営コンサル会社が全株式を取得・長期保有し、大手自動車部品メーカーの役員経験者を新社長とする事業承継を実施。承継後も安定的な製品供給と雇用を継続することで、取引先からも信頼を得ている。さらに、社長とコンサル会社から派遣された常駐の CFO、社員が一体となり、コストの徹底的な把握をはじめとする様々な社内プロジェクトを立ち上げ、経営・財務の見える化と改善に取り組み、2 年間で売上 2 割弱の増加と黒字化を達成している。



社員の頑張りに対し、年末に感謝会を実施

独自の精密加工により高い品質と生産性を両立し、優位性のある事業環境を構築

一般的には、薄板形状のプレス加工で板厚より小さな径の孔を打ち抜くことは、製品・金型双方の孔部分に荷重が集中するため金型部品の耐久性や成形性の面で難しいとされている。そうした中、同社は、板厚の半分以下の小さな径の孔を多数かつ複数の形状を順送プレスで加工する高い技術力を持つ。さらに、顧客の品質目標を満足しながら年産 2,000 万枚を超える生産性も両立し、高い優位性を持っている。



生産性の高い順送型プレスライン(400 トン)